

Yahoo! JAPAN の OpenStack 基盤に Open Compute Project が初採用

伊藤忠テクノソリューションズ（以下、CTC）と ITOCHU Techno-Solutions America, Inc. は、ヤフー（以下、Yahoo! JAPAN）の米国現地法人である YJ America, Inc.（以下、YJ America）が所有する米国データセンターの仮想化統合基盤に Open Compute Project（以下、OCP）の仕様に基づいたソリューションを提供した。クラウド基盤を構築するオープンソースソフトウェア「OpenStack」を利用した仮想化統合基盤への導入となり、Yahoo! JAPAN で OCP が採用されるのは初めてだ。

米国では、データセンター向けに最適化されたオープンハードウェアの需要が拡大している。特に「ウェブスケール」や「ハイパースケール」と呼ばれる大規模な IT インフラを必要とする事業者を中心に、特定ベンダーに依存することのない機器の調達が進んでいる。

OCP は、米国 Facebook 社が自社サービスで使用しているデータセンターやサーバなどのハードウェア仕様をオープン化するために 2011 年に開始したプロジェクト。データセンター向けハードウェアを標準化・オープンソース化し、大規模データセンターに最適なハードウェアを設計・提供するための運営団体として「Open Compute Project Foundation」が設立された。現在では、Facebook 社などのユーザー企業に加え、大手ハードウェアベンダーやソフトウェアベンダー、SI 企業など、全世界で 150 社以上が OCP に加盟し、OCP 仕様のサーバ、ストレージ、スイッチ、ラックなどの開発が進められている。

Yahoo! JAPAN は、2015 年 4 月に YJ America が保有する米国ワシントン州のデータセンターを正式に稼働した。東日本エリアおよび西日本エリアに加え、国外のデータセンターを活用することで BCP 強化を実現した。また、米国における設置地域の電気料金が廉価であること

から、グループ全体のサーバ運用費用の削減を図ることも狙いだ。

北米では OSS を用いた技術革新が広がっており、2013 年に自社データセンターの仮想化統合基盤として採用した OpenStack をはじめとして、Yahoo! JAPAN は OSS から積極的に新しい技術を取り入れてきた。ウェブスケールで活用されている OCP を自社の OpenStack 基盤に採用することで、大規模データセンターに対応したコスト競争力の強化と、更なる基盤技術力の向上が期待できる。ハードウェアのオープン化によって、ハードウェア調達時に自社が求める製品設計や運用の仕方などを検討し、コスト、技術の両面から最も適した製品を選択することができる。

CTC は、2014 年 1 月に国内で初めて Open Compute Project Foundation から Solution Provider 認定を受け、OCP が正式に認定する製品の販売、設計、構築、保守を 2014 年 4 月に開始するとともに、OCP の普及に貢献してきた。OCP 仕様のサーバ、ストレージなどの製造を行っている ODM 各社と協力することで競争力のある機器調達が可能としている。

今回、これらの取り組みと実績が評価され、Yahoo! JAPAN の OpenStack 基盤への OCP 製品の導入が決まった。CTC は OCP 仕様のサーバ、ストレージ、ラック、電源装置の共同評価、製品販売、ラックレベル構築、および保守サポートまでのトータルソリューションを提供する。

2014 年度に OpenStack による約 5 万の VM（仮想マシン）の管理を実現した Yahoo! JAPAN では、更に管理台数を拡大する計画だ。今後は OpenStack 以外の分野も含めて OCP の導入拡大を検討している。

伊藤忠テクノソリューションズ TEL : 03-6203-4100